

生きる力を育む歯・口の健康づくり 実践報告 Part3

最近の歯科研究では歯周病の全身への影響や認知症との関連などが注目されています。どの年代においても重要な課題があり、働きかけやすいことに着目し、今年は「歯と口の健康とSDGs」をテーマに保健委員が文化祭でイベントを実施しました。

保健委員で時間をかけてアイデアを出し合い、NIE教育推進校として新聞を活用し、最新の情報やグラフや科学的根拠を元にクイズを出題しました。高校生ならではの発想から生まれたNIEクイズを作ることができました。歯が折れた場面を想定して応急処置を考える歯のクイズゲームも楽しんでもらえました。歯ぐきに圧をかけすぎて傷つけるのを予防するため、カチツとなるハブラシを使って力を入れて磨きすぎないことを分かりやすくお伝えできました。噛むことを意識するために酢こんぶの紹介をしました。お口の「あいうべ体操」の紹介ではアニメーション部とコラボした可愛いイラスト掲示や生徒が作成した動画を流すことで、イベントを盛り上げました。取材をして制作した校内安全MAPも掲示しました。



来場したお客さまから「歯が折れた場合の対処法を初めて知った。勉強になった。」という感想を頂きました。様々な機会を通じて、歯・口の健康づくりや外傷予防・応急処置について深く考えるイベントとなりました。

来場したお客さまから「使い古した歯ブラシの回収はどのような意味があるのですか?」という質問もありました。プラスチックを減らし、みんなで環境に優しい社会を作るという取り組みについて、深く考えることができました。天井からつるした「SDGsくん」の折り紙は、今回地域の保育園にも寄贈する予定です。



食育と英語の授業とのコラボ (Japanese Food)

3年生は1学期よりALT リチャード先生との授業で、英字新聞の読み方を教えてもらいました。実際に、オリンピックの選手村の食事や月見バーガーなどの生徒たちにとって身近な食べ物の記事を英字新聞で読むことができました。その知識を活かして文化祭では日本食のポスターを制作し、発表しました。



11月10日「いい歯の日」に、保健委員と放送部の協力のもと、ハブラシリサイクルのSDGsの取り組みについて、放送部の生徒がお昼の放送で呼びかけし、保健委員が回収活動を行いました。ハブラシを持って来て下さった皆様、ご協力ありがとうございました。